

『都市の経済学 小テスト No. 1』 (1問1点、13点満点)

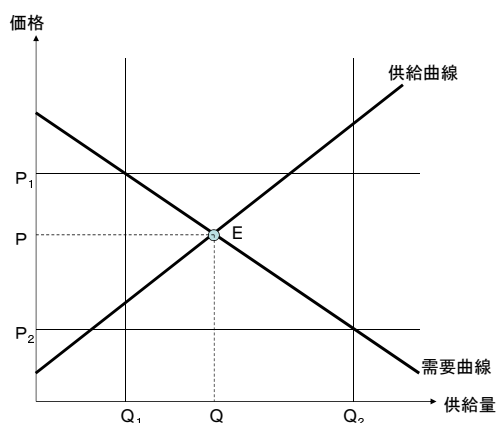
以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

1. 都市経済学と住宅について

- 1.1. 都市経済学が定義する「都市」は、行政・政治的な「都市」と (1: ①異なっている、②同様である、③不明)。
- 1.2. 先進国において都市化の最も早く進んだ国は (1: ①イギリス、②フランス、③米国、④日本) である。
- 1.3. 都市経済学の課題は、都市の諸問題における (2: ①個別の、②相互の、③ゼロ、④都市) メカニズムを把握し、理論と政策を提示することである。
- 1.4. 都市化は、郊外部が (1: ①拡大、②縮小、③後進) していくことと等しい。
- 1.5. 都市化は、人口流入により人口密度が (3: ①失われる、②減少する、③上昇する) 結果、土地利用の (2: ①普遍化、②高度化、③初期化) を進めることとなる。その結果、住宅にまつわる様々な問題【具体例を裏に①として回答】(日照権の侵害、住宅不足、地価の上昇、大気汚染、通勤時間の長さなど)が発生し、その対策として住宅・土地に関わる様々な政策【具体例を裏に②として回答】(固定資産税の弾力化、用途規制の導入、公営住宅の供給、家賃補助など)が導入されることとなる。

2. 下の図は、アイスクリーム市場の需要と供給を表しており、点 E において均衡をしている。以下の問いに答えよ。なお、回答は以下の選択肢から選ぶこと (①右シフト、②左シフト、③シフトはしない、④均衡点)



- 2.1. 以下のような変化が生じた場合、需要曲線はどのように変化するか？適切だと考えるものに丸をしない。

- (イ) お小遣いが増加した (71)
- (ロ) 猛暑の夏だった (81)
- (ハ) かき氷 (代替財) が 50%off になった (92)

- 2.2. 以下のような変化が生じた場合、供給曲線はどのように変化するか？適切だと考えるものに丸をしない。

- (イ) アイスクリーム会社の新規参入があった (101)
- (ロ) 乳牛がかかる伝染病がはやった (112)